

2 「環境先進地域」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	1	自然力を活かしたクリーンエネルギーの導入促進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>本県は、「緑と水と太陽の恵み」が日本一という大きな自然力を持っています。このかけがえのない自然力を最大限に活用した太陽光発電や小水力発電を一層普及促進するとともに、バイオマス資源の利活用を図り、「クリーンエネルギー先進県やまなし」の実現を目指します。</p>					
平成 24 年度 の 主 な 取 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 県内クリーンエネルギー施設に関する情報の発信		P.30	エネルギー局	
	○ 太陽光発電の普及と整備促進		P.30	エネルギー局	
	○ 小水力発電の推進		P.30	エネルギー局・ 企業局	
	○ バイオマス利活用の促進		P.31	森林環境部	
	○ 農村地域へのクリーンエネルギー導入の支援		P.31	農政部	
	○ メガソーラー発電所の活用の促進		P.32	企業局	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			6,830 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			3,317 百万円	
	前年度までの事業費			1,886 百万円	
	本年度の事業費			1,431 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	太陽光発電(住宅用)による出力数	31,561 kW (H22)	72,131 kW (H26)	62,247 kW (H24)	75.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 県内クリーンエネルギー施設に関する情報の発信 【エネルギー政策課】	————	<p>本県の豊富なクリーンエネルギー資源と活用技術を県内外にPRし、併せてクリーンエネルギーへの理解を図るため、国認定の「次世代エネルギーパーク」として、クリーンエネルギー施設と周遊ルートの広報を行った。</p> <p>これにより、県内のクリーンエネルギー施設の知名度向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報パンフレットの配布
2 太陽光発電の普及と整備促進 【エネルギー政策課】	企 画 総 務 費 (259,151) 230,478	<p>エネルギーの地産地消の実現に向け、主力となる太陽光発電の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電の普及率日本一を目指し、個人住宅への普及を図るとともに、大規模発電施設を誘致しようとする市町村への支援などを進めた。</p> <p>これにより、住宅や民間施設への普及が拡大したほか、大規模発電施設の県有地や市有地等への整備が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電設備設置費補助 交付件数 1,426 件 ・県有地 2 箇所への民間メガソーラー発電所の誘致に伴う敷地整備 ・やまなし節電エコ住宅促進モデル事業補助 交付件数 20 件 ・エネルギー地産地消推進会議の開催 3 回 ・市町村フォーラムの開催 1 回 ・産業フォーラムの開催 1 回
3 小水力発電の推進 【エネルギー政策課】 【企：電気課】	(電気事業会計) (44,208) 15,496	<p>小水力発電の普及を図るため、市町村等に対する情報提供や技術支援、モデル施設の建設などを進めた。</p> <p>これにより、小水力発電の県内市町村等への啓発ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電モデル施設等の整備 実施設計 1 箇所 (大城川砂防ダムを利用した発電所) ・小水力発電用設備の研究 地点調査と関係機関協議 ・市町村等への情報提供、技術支援 支援地点の完成 3 箇所 (北杜市) 小水力発電開発支援室による支援 相談件数 74 件 (累計 346 件) 技術的支援 6 地点 (累計 26 地点) ・小水力発電開発推進計画の策定 新たに 10 年間で 10 地点程度の小水力発電を開発する「やまなし小水力ファスト 10」を策定

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 バイオマス利 活用の促進 【林業振興課】	林業振興指導費 (16,020) 15,987	<p>農山村地域のエネルギー資源として、木質バイオマスなどの利活用を促進するため、利用施設の整備と普及啓発を行った。</p> <p>これにより、木質バイオマスの利用が図られ、二酸化炭素削減に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設へのペレットボイラー等の設置 6台 ・ 県有施設への展示パネルの設置 11施設
5 農村地域へのク リーンエネルギー 導入の支援 【耕地課】	土地改良費 (85,607) 32,727 [52,880]	<p>農村地域における再生可能なエネルギーの利活用を図るため、太陽光発電や小水力発電の導入を促進した。</p> <p>これにより、農村地域へのクリーンエネルギーの導入に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電の整備 永井原地区
6 山梨の自然環境 を活かした水力 発電の推進 【企：電気課】	(電気事業会計) (2,020,476) 1,103,125 [465,573]	<p>山梨の自然環境を活かしたクリーンエネルギーの供給を図るため、既設水力発電所の安定的稼働や新規水力発電所の開発に向けた調査・検討を進めた。</p> <p>これにより、クリーンエネルギー電気の安定供給に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既設水力発電所による電力の供給 県内需要電力量の7.1%に相当する435百万kWhの電力量を供給 ・ 既設発電所の分解点検等 6箇所 ・ 新規水力発電地点の開発調査 県内3地点

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 メガソーラー 発電所の活用 の促進 【企：電気課】	(電気事業会計) (17,378) 16,676	<p>全国有数の日射量を有している本県の特徴を活かした再生可能エネルギーの導入を図るため、米倉山の太陽光発電所に併設したPR施設「ゆめソーラー館やまなし」において、次世代エネルギーについての情報発信を行った。</p> <p>これにより、「クリーンエネルギー先進県やまなし」を全国にアピールすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代クリーンエネルギーの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 米倉山太陽光発電所PR施設から情報発信 入館者数 15,033 人（累計 22,989 人） イベント等実施 <ul style="list-style-type: none"> 超電導エネルギー貯蔵研究会 米倉山メガソーラーを親子で自由研究ツアー

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	----------	----------------------

政策	2	地球にやさしい省エネライフの推進と循環型社会の形成	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】</p> <p>東日本大震災を契機とした、電力供給対策や地球環境問題への対応から、ますます省エネルギー対策の重要性が高まっています。</p> <p>また、大量生産・大量消費の社会構造は、環境との調和に対し大きな問題となっています。</p> <p>このため、家庭や企業における省エネ対策を進めるとともに、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会への転換を目指します。</p>					
平成24年度の主な取り組み状況	項 目			頁	担当部局
	○ 家庭の省エネ対策への支援			P.34	森 林 環 境 部
	○ 企業の省エネ対策への支援			P.34	エ ネ ル ギ ー 局
	○ リユースびんの利用促進			P.35	森 林 環 境 部
	○ ごみ減量・リサイクルの推進			P.35	森 林 環 境 部
	○ 廃棄物最終処分場事業の推進			P.36	森 林 環 境 部
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			19,300 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,560 百万円	
	前年度までの事業費			4,908 百万円	
	本年度の事業費			3,652 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	一人一日当たりごみ排出量	965 g (H21)	901 g (H26)	960.7 g (H23)	6.7
	産業廃棄物排出量	1,300 千トン (H21)	1,240 千トン (H26)	1,381 千トン (H23)	△ 135.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 家庭の省エネ 対策への支援 【森林環境総務課】	企画総務費 (750) 737	<p>家庭における省エネ対策を促進するため、「やまなしエコライフ県民運動」を推進し、緑のカーテン、環境家計簿の実施促進に向け、積極的な啓発活動を行った。</p> <p>これにより、緑のカーテン運動の参加団体数は98団体となり、また環境家計簿の回収率は17.14%となるなど、実践者の拡大が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン実践者の拡大促進 <ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテンキャンペーンの実施（ゴーヤ等の種を配布） 平成24年4月 緑のカーテン運動の参加団体数 98団体 緑のカーテン運動推進店の登録店舗数 53店舗 ・環境家計簿の配布・回収及び分析・公表 <ul style="list-style-type: none"> 環境家計簿の配布 5,000部 環境家計簿の回収 857部 環境科学研究所による分析・公表 <ul style="list-style-type: none"> やまなしエコライフ県民運動セミナーにおける事例発表 平成24年11月
2 企業の省エネ 対策への支援 【エネルギー政策課】	———	<p>企業の省エネ設備導入を支援するため、温室効果ガス排出抑制計画等を募集し、公表した。</p> <p>これにより、事業者による自主的な取り組み拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出抑制計画の公表 163事業所 ・自動車環境計画の公表 16事業者
3 環境にやさしいバスの普及 促進 【大気水質保全課】	公害対策費 (5,000) 4,434	<p>CNGバスやハイブリッドバスなど、環境にやさしいバスの普及を促進するため、路線バス事業者に導入を働きかけるとともに、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低公害バス導入への支援 <ul style="list-style-type: none"> CNGバス2台

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 リユースびん の利用促進 【森林環境総務課】	環境衛生指導費 (147) 124	<p>容器などの廃棄物の排出を抑制するため、やまなしエコライフ県民運動を推進するとともに、ごみ減量・リサイクル推進キャンペーンを実施し、再利用が可能なリユースびんの利用促進を図った。</p> <p>これにより、リユースびん運動の参加団体が71団体、リユースびん推進店が650店舗となるなど、県民や事業者によるびんの再利用の取り組み拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リユースびん運動の参加団体の募集 リユースびん運動の参加団体数 71 団体 ・リユースびん推進店の募集・登録 リユースびん推進店の登録店舗数 650 店舗 ・ごみ減量・リサイクル推進キャンペーンの実施 キャンペーン実施 21 市町村、4 林務環境事務所等
5 ごみ減量・リ サイクルの推 進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (1,260) 1,260	<p>廃棄物の発生抑制や循環的利用等に関する第2次山梨県廃棄物総合計画の進行管理を行うとともに、実態に即した施策を推進するため、廃棄物の発生量、処理量、処理方法等を調査した。</p> <p>これにより、県内の廃棄物処理等の現状・課題等の把握に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理事業実態調査 平成24年8月～平成25年3月 ・産業廃棄物実態調査 平成24年7月～平成25年2月
6 環境にやさし い新資材等の 優先使用 【治山林道課】 【産業支援課】 【耕地課】 【技術管理課】 【営繕課】 【企：電気課】	商工総務費 (582) 362	<p>やまなしトリアル発注認定制度に基づく環境にやさしい新資材や先進的な新資材及び環境にやさしい工法や技術を公共事業で優先的に使用するため、認定状況や購入実績を調査するとともに、試行方法について検討した。また、県内中小企業者の新商品の市場への普及拡大（販路開拓）を支援するため、製品化した新商品のうち、県が定める基準を満たすものを「やまなしトリアル発注商品」として認定し、県の機関での試験的調達を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定商品数 4 商品 ・試験的調達所属数 17 所属

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 廃棄物最終処分場事業の推進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (3,940,596) 3,644,626 [107,117]	<p>山梨県環境整備センター（明野処分場）については、平成24年3月に廃棄物の受け入れを再開し、廃棄物の搬入確保を図るとともに、12月に発生した漏水検知システムの異常検知について、学識経験者で構成する調査委員会を設置し、専門的かつ客観的に原因究明調査を行うなど、山梨県環境整備事業団と一体となり利用促進と適正な管理運営の取り組みを進めた。</p> <p>笛吹市境川町に計画している県内全市町村の一般廃棄物を対象とした最終処分場については、事業主体である山梨県市町村総合事務組合及び整備の委託を受けた事業団と一体となり、処分場の実施設計及び用地測量等を実施した。</p> <p>これにより、廃棄物の自県内処理の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県環境整備センターの管理運営 ・市町村の意向に基づく一般廃棄物処分場の整備

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	3	活力ある林業の振興と豊かな森林の保全	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県は、県土面積の78%を森林が占める全国有数の森林県です。 森林の有する多面的な機能を保全し、良好な状態で次世代へ継承するため、適切な森林整備と社会全体で支える新たな森づくりを進めます。</p>					
平成24年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 森林整備の推進		P.38	森 林 環 境 部	
	○ 新たな路網整備の推進		P.38	森 林 環 境 部	
	○ 県産材の県内消費の拡大		P.39	森 林 環 境 部	
	○ 森林環境税の導入		P.39	総 務 部 ・ 森 林 環 境 部	
	○ 里山保全活動の推進		P.40	森 林 環 境 部	
	○ 県有林の適正な管理・保全		P.40	森 林 環 境 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			15,400 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			9,240 百万円	
	前年度までの事業費			4,380 百万円	
	本年度の事業費			4,860 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	民有林の森林経営計画等作成面積 (累計)	44,484 ha (H22)	48,900 ha (H26)	45,753 ha (H24)	28.7
	素材生産量	148 千 m ³ (H22)	250 千 m ³ (H26)	154 千 m ³ (H24)	5.9

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 森林整備の推進</p> <p>【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】</p>	<p>造林費 (450,863) 180,413 [232,879]</p> <p>治山費 (664,278) 460,173 [204,105]</p> <p>造林費 (恩賜県有財産特別会計) (596,403) 460,911 [110,000]</p>	<p>森林の有する公益的機能の発揮のため、木材生産や 水土保持等を目的に管理している県有林、民有林にお いて計画的な間伐などの森林整備を推進した。 これにより、積極的に間伐及びその他森林整備が 4,620ha 実施され、森林の公益的機能が維持・向上 した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備（植栽・保育等） 3,483 ha ・間伐の推進 1,137 ha
<p>2 新たな路網整備の推進</p> <p>【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】</p>	<p>造林費 (16,598) 16,598</p> <p>林道費 (2,550,551) 1,624,066 [922,517]</p> <p>造林費 (恩賜県有財産特別会計) (95,905) 92,382 [1,671]</p> <p>林道費 (恩賜県有財産特別会計) (2,467,519) 1,459,205 [1,008,314]</p>	<p>森づくりを支える山村の活性化と効率的な森林整備 を実施するため、新たな路網整備を進めた。 これにより、林業生産性の向上に向けた取り組みや、 山村地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道の整備 13.3 km ・森林作業道の整備 25.6 km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 県産材流通対策の強化 【林業振興課】	林業振興指導費 (56,182) 53,736	<p>県産材の安定供給と需要拡大を図るため、広域的な供給体制の確立と、林業の低コスト化を支援した。</p> <p>これにより、木材の伐採・搬出・運搬作業の低コスト化が図られることでストックヤードなどへの集積が進み、県産材の広域的な供給体制、需要拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高性能林業機械及び車両系林業機械レンタルへの支援 21 事業体 (34 台) ストックヤードまでの間伐材搬出への支援 6,300m³ 高性能林業機械への支援 7 台
4 県産材の県内消費の拡大 【林業振興課】	林業振興指導費 (9,540) 9,268	<p>県産材の県内での消費を拡大するため、一般住宅への柱材などの提供、木工製品の開発等への支援を行った。</p> <p>これにより、住宅等への県産材の利用が促進され、県産材の需要と消費の拡大に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅等の県産材利用への支援 30 戸 県産材の需要拡大活動への支援 4 団体
5 森林環境税の導入 【税務課】 【森林環境総務課】	林業総務費 (1,281) 1,094 税務総務費 (10,238) 5,915	<p>土砂災害の防止や洪水の緩和、地球温暖化防止などの公益的機能を持つ森林を、県民の貴重な財産として適切に整備・保全し、次世代に引き継いでいくため、森林環境税を導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及啓発用ポスター (500 枚)、リーフレット (20,000 部) の作成等 平成 24 年 6 月 森林環境保全基金運営委員会の開催 (2 回) 平成 24 年 7 月 平成 25 年 3 月 「木質バイオマス普及促進シンポジウム」の開催 平成 25 年 1 月 市町村における税務システムの改修等 平成 25 年 1 月
6 健全な森づくりの推進 【森林整備課】 【県有林課】	造林費 (417,006) 219,691 [172,861]	<p>公益的機能が発揮される健全な森づくりを推進するため、荒廃した民有林の整備や里山林の整備、広葉樹の植栽など、森林環境税の目的に則した事業を推進した。</p> <p>これにより、間伐等による荒廃森林の再生整備など、360 ha の森林整備が実施され、森林の公益的機能の維持・向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒廃森林の再生整備 316 ha 里山の再生整備 28 ha 広葉樹の森づくり 16 ha

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 広葉樹の森づくりの推進 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	造林費 (17,390) 17,165 治山費 (11,742) 11,742 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (84,859) 83,212	木材生産や水土保持等を目的に管理している森林において、国の制度を活用した広葉樹を主体とする多様な森づくりを行った。 これにより、水源のかん養や生物多様性の保全など、森林の多面的機能の維持増進に寄与した。 ・広葉樹の植栽 植栽面積 52 ha ・天然力を活用した針葉樹・広葉樹の混交林化 広葉樹の天然更新を図る更新伐・強度間伐面積 208 ha
8 里山保全活動の推進 【みどり自然課】	緑のふるさと推進事業費 (220) 97	企業・団体の森づくりの参加を促進するとともに、多くの県民が森づくり活動の効果に関心を持つ契機とするため、企業・団体が県内で行う森づくり活動に対して、CO ₂ 吸収量を認証した。 これにより、55 の企業・団体が 59 箇所で行った森づくり活動を行い、前年度より、3 つの企業・団体、3 箇所増加するなど、里山保全活動の推進に寄与した。 ・やまなしの森づくり・CO ₂ 吸収認証評価委員会の開催 2 回 ・CO ₂ 吸収量の認証 15 件、認証量 184.5 t-CO ₂
9 県有林の適正な管理・保全 【県有林課】	計画調査費 (恩賜県有財産特別会計) (2,947) 1,232 造林費 (恩賜県有財産特別会計) (58,559) 31,265	県有林において、環境に配慮した管理・保全を行うため、計画的な間伐などの森林整備を実施するとともに、県有林材の安定的な供給を行った。 これにより、環境・経済・社会の各視点から持続可能な森林経営を評価する国際的な規準（F S C 森林管理認証）に適合した、県有林の適正な管理・保全を図った。 ・F S C 森林管理認証の継続認定 認証継続のための更新審査 平成 24 年 10 月 15 日～10 月 17 日 ・造林事業の実施 森林整備面積 2,114 ha（再掲） ・県有林材の市場への供給 供給材積 55,498 m ³

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	4	自然と調和した美しい農山村づくりの推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	6	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 本県の四季折々を彩る美しい農山村の景観は、全国に誇れる県民共有の財産です。 この景観を保全するとともに、生態系を維持していくため、耕作放棄地の再生活用や 鳥獣害防止対策など、自然と調和した美しい農山村づくりを進めます。</p>					
平成 24 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 環境保全型農業による有機の郷づくりの推進		P. 42	農 政 部	
	○ 耕作放棄地の再生活用の促進		P. 42	農 政 部	
	○ 鳥獣害防止対策の強化		P. 43	農 政 部	
	○ 効果的な被害防止施設の整備		P. 43	農 政 部	
	○ 野生鳥獣の保護管理の推進		P. 44	森 林 環 境 部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			11,240 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,239 百万円	
	前年度までの事業費			3,602 百万円	
	本年度の事業費			4,637 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	農業生産工程管理（GAP）導入 産地数	8 産地 (H22)	24 産地 (H26)	16 産地 (H24)	50.0
	耕作放棄地解消面積（累計）	545 ha (H22)	1,250 ha (H26)	965 ha (H24)	59.6

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 環境保全型農業 による有機の郷 づくりの推進 【農業技術課】	農業改良普及費 (9,557) 8,109	<p>環境に配慮した農業を推進するため、有機農業の導入、有機性資源の利活用の取り組みなど、地球温暖化防止、生物多様性の保全効果の高い営農活動を支援した。</p> <p>これにより、環境保全型農業直接支払への取り組みが県内 105ha で実施されるなど、本県の環境負荷軽減に向けた農業の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業推進協議会の開催 平成 25 年 2 月 ・有機農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 有機農業推進協議会の開催 2 回 ・エコファーマーの認定 802 計画 ・肥料・農薬の使用実態モニタリング調査の実施 ・環境保全型農業直接支払の実施(累計) <ul style="list-style-type: none"> 14 市村、約 105 ha (うち有機農業 約 45 ha) ・有機の郷フェアの開催 <ul style="list-style-type: none"> 県内 1 店 東京 1 店 (平成 24 年 7 月～平成 25 年 3 月) ・有機の郷販路拡大に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> 北杜市 2 団体 上野原市 1 団体
2 耕作放棄地の 再生活用の促 進 【農政総務課】 【農村振興課】 【畜産課】	農業総務費 (37,659) 37,659 畜産振興費 (500) 300 土地改良費 (51,000) 47,333 [3,667]	<p>優良農地を確保し、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地等の実態把握や利用状況調査を行い、耕作放棄地の解消対策を推進するとともに、多様な担い手による耕作放棄地等の利活用を促進した。</p> <p>これにより、耕作放棄地 201 ha が再生活用された。また肉用牛のレンタル牛バンク制度に取り組み、耕作放棄地の有効活用に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地再生活用への支援 <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地再生整備支援事業 韮崎市 外 3 市町村 24 ha ・耕作放棄地の調査、所有者等の指導 <ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の農地利用状況調査の実施 27 市町村 農業委員会を通じた耕作放棄地所有者への指導 ・農地活用サポートセンターへの支援 <ul style="list-style-type: none"> J A こま野 外 2 J A への運営支援 ・肉用牛放牧による耕作放棄地の再生 <ul style="list-style-type: none"> 6 市 7.8 ha (平成 24 年 6 月～平成 25 年 1 月)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 耕作放棄地の 再生支援 【耕地課】	土地改良費 (6,395,236) 3,172,094 [3,206,700]	<p>耕作放棄地の解消及び発生を防止するため、基盤整備を行い優良農地への再生を支援した。</p> <p>これにより、耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業等で 24 地区の基盤整備を行い優良農地の保全がされ、耕作放棄地の再生に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備の促進 耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業 大草地区 外 1 地区 中山間地域総合整備事業 敷島地区 外 11 地区 農地環境整備事業 三富地区 外 6 地区 基盤整備促進事業 成沢地区 外 2 地区
4 鳥獣害防止対策の強化 【農業技術課】	農業改良普及費 (8,869) 8,630	<p>地域による鳥獣害防止対策を推進するため、野生鳥獣被害対策連絡協議会において被害防止対策の総合的検討を進めるとともに、生息状況の把握と個体数管理を図りながら、関係団体及び地域が一体となった防止対策に取り組んだ。</p> <p>これにより、各地域において被害防止の諸対策が講じられたとともに、鳥獣害防止対策集落リーダーの育成等により、鳥獣被害の防止対策に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物鳥獣害防止対策会議の開催 平成 24 年 6 月 ・防護柵の設置等被害防止対策への支援 13 市町村協議会 ・鳥獣害防止対策に係る集落リーダーの育成・活動支援 鳥獣害防止対策集落リーダー 60 人 鳥獣害防止対策集落リーダーの育成に向けた研修会の開催 全体研修 平成 24 年 11 月～平成 25 年 1 月 地区別研修 平成 24 年 12 月
5 効果的な被害防止施設の整備 【農業技術課】 【耕地課】	農業改良普及費 (40,164) 40,164 土地改良費 (620,900) 620,865	<p>野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、効果的な被害防止施設の整備を進めた。</p> <p>これにより、電気柵等の鳥獣害防止施設を 70 km 整備するなど農業者の営農意欲を高め、耕作放棄地の減少などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵等の鳥獣害防止施設の整備 延長 70 km 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル ・多獣種対応柵「獣堀くんライト」の普及 県下 2 地域にモデル展示ほ場を設置

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 野生鳥獣の保護管理の推進 【みどり自然課】	鳥獣管理費 (134,140) 118,410	<p>野生鳥獣による農林業被害の防止と生態系の保全を図るため、管理捕獲を実施するなど、特定鳥獣の保護管理を推進するとともに、鳥獣捕獲従事者の育成事業に対して支援した。</p> <p>これにより、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルについて9,138頭捕獲し、野生鳥獣被害対策の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理捕獲への支援 <ul style="list-style-type: none"> 26市町村、2恩賜県有財産保護組合 ・ニホンジカ個体数調整捕獲の実施 10地区 ・鳥獣捕獲従事者の育成、技術講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 銃猟研修 4回 わな研修 4回 ・生息数等に係るモニタリング調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「環境先進地域」チャレンジ
----------	---	---------------

政策	5	快適で美しい環境の保全	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 日本のシンボルである富士山に代表される美しい自然を求め、全国や世界中から大勢の人々が本県を訪れています。 この自然と景観を保全し、「日本一環境にやさしい県やまなし」を実現するため、地域や関係者が一体となって景観形成や環境保全対策等を進めます。</p>					
平成24年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 美しい県土づくりの推進		P.46	県土整備部	
	○ 良好な屋外広告物景観の形成		P.46	県土整備部	
	○ 富士山世界文化遺産登録の推進		P.47	知事政策局	
	○ 世界遺産にふさわしい景観づくり		P.47	知事政策局・ 県土整備部	
	○ 富士山の環境保全の推進		P.48	観 光 部	
	○ 水資源の保護と適正利用の推進		P.48	森 林 環 境 部	
	○ 身近な生活環境の整備		P.49	森林環境部・ 県土整備部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			42,600 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			18,184 百万円	
	前年度までの事業費			9,498 百万円	
	本年度の事業費			8,686 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	市町村景観計画策定数	3 団体 (H22)	22 団体 (H26)	5 団体 (H24)	10.5

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 美の郷やまなし づくり基本計画 (仮称)の策定 【森林整備課】 【耕地課】 【美しい県土づくり推進室】	————	県民や来訪者が居心地の良さや幸せを感じるこ のできる景観を実現するための、「美の郷やまなしづ くり基本計画(仮称)」について策定を進めた。 これにより、関係部局・関係市町村の調整が進み、 景観施策に関する体系化が図られた。 ・美の郷やまなしづくり基本計画策定 広域景観に関する基礎調査の実施 景観行政団体連絡会議の開催 1回
2 美しい県土づ くりの推進 【美しい県土づくり推進室】	土木総務費 (36,818) 13,698 [1,176]	県全体の景観形成を図るため、市町村における景観 まちづくりに関する具体的な取り組みを支援するとと もに、美しい県土づくり推進会議を開催した。 これにより、景観を育む協働体制の確立が図られる とともに、県民による継続的な景観づくりの推進に寄 与した。 ・モデル地区における景観形成への支援 景観形成モデル事業の実施 1町1地区 行政、住民説明会等の実施 8市町村 ・美しい県土づくり推進会議の開催 平成25年2月 設立総会の開催 参加167団体 推進大会の開催 参加者340人
3 環境との調和 に配慮した農 業基盤の整備 【耕地課】	土地改良費 (819,350) 280,530 [538,820]	美しい農村景観を保全するため、農村における生態 系や自然環境等に配慮した農業生産基盤等の整備を推 進した。 これにより、地域環境整備事業等の4地区において、 自然石を利用した施工方法等の基盤整備を行うなど、 美しい農村景観の保全に寄与した。 ・自然環境や景観に配慮した基盤の整備 地域環境整備事業等 増穂西部地区 地域用水環境整備事業 竜王地区 外2地区
4 良好な屋外広 告物景観の形 成 【美しい県土づくり推進室】	都市計画総務費 (16,396) 15,695	美しい県土にふさわしい屋外広告物となるよう、事業 者や県民に対して屋外広告物制度の意義や内容を周知 するとともに違反広告物に対する是正指導を強化した。 これにより、事業者や県民における屋外広告物制度 の意義や内容についての理解が深まるとともに、違反 広告物の適正化が促進された。 ・屋外広告物県下一斉パトロールの実施 2回 ・屋外広告物制度の普及啓発及び指導 違反広告物の指導件数 5,180件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 富士山クリーンアップ事業の推進 【環境整備課】	環境衛生指導費 (10,169) 10,168	<p>富士山麓の不法投棄物を一掃するため、市町村、NPO等と連携して、不法投棄により長期間放置されている廃棄物の撤去活動を推進するとともに、不法投棄の未然防止対策を実施した。</p> <p>これにより、平成23年度から撤去活動に着手していた廃タイヤ不法投棄現場については、全ての廃タイヤ(総計3,597本)の撤去及び処分を完了するなど、富士山の環境保全の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の開催 2回 ・行政とNPO等との協働による不法投棄物の撤去 撤去活動回数 11回 撤去量：約41t (廃タイヤ860本(16t)、建設廃材25t) ・休日・夜間監視パトロールの実施 実施回数 470回
8 富士山の環境保全の推進 【観光資源課】	企画総務費 (19,695) 19,537	<p>富士山の環境保全を推進するため、富士山ボランティアセンターを拠点として、意識啓発を行うとともに、富士山レンジャー等による環境保全活動を進めた。</p> <p>これにより、富士山周辺の清掃活動に、延べ38,000人を上回る多数の参加や270,000kgを超えるゴミの回収などの富士山の環境保全活動の成果に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山憲章キャンペーン等の実施 富士山頂・道の駅・北麓駐車場等にて、延べ21日 ・富士山レンジャーの設置 4人 北麓地域の巡回、環境教育の実施 ・美化清掃活動団体への支援 2団体
9 水資源の保護と適正利用の推進 【森林環境総務課】	企画総務費 (15,200) 15,172	<p>将来にわたって安定した水需給の確立と水資源を活かした産業の振興を図るため、水政策基本方針の見直しを進めるとともに地下水の保護と適正利用に向けた「山梨県地下水及び水源地域の保全に関する条例」を平成24年12月に制定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水資源実態調査の実施 平成24年5月～平成24年12月 ・水資源保全検討委員会の開催 平成24年5月～平成25年2月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 身近な生活環境の整備 【大気水質保全課】 【下水道課】	環境衛生指導費 (95,174) 90,299 下水道費 (100,615) 77,783 流域下水道建設費 (流域下水道特別会計) (2,877,085) 2,120,353 [756,732]	<p>生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、清らかな水を守るため、下水道や浄化槽などの生活排水処理施設を整備した。</p> <p>これにより、平成 24 年度末の生活排水クリーン処理率は 78.1%となり、前年度末と比較して 0.9 ポイント上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置への支援 725 基 ・流域下水道の整備 <p>富士北麓流域下水道事業 足和田ポンプ場更新（機械・電気） ポンプ場長寿命化計画策定 富士北麓 2 号幹線の耐震化</p> <p>峡東流域下水道事業 笛吹川幹線管渠の耐震化 間門川幹線管渠の耐震化</p> <p>釜無川流域下水道事業 水処理施設の増設 釜無川 1 号・2 号幹線管渠の耐震化</p> <p>桂川流域下水道事業 桂川 1 号幹線管渠の新設 桂川 2 号幹線耐震対策詳細設計</p>
11 北富士演習場問題解決に向けた取り組み 【北富士演習場対策課】	企画総務費 (3,880) 2,861	<p>北富士演習場について、全面解消、平和利用を目指し、段階的縮小を進めていくことを基本姿勢としながら、併せて演習場周辺の地域振興と民生安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北富士演習場対策協議会での協議 3 回 第 9 次北富士演習場使用協定の締結 平成 25 年 3 月 ・国への要望 演習場賃料及び林野雑産物損失補償等に関する国との協議 2 回 渉外関係主要都道県知事連絡協議会を通じての国への要請活動 平成 24 年 7 月
12 北富士演習場周辺の生活環境の整備 【治山林道課】	治山費 (147,352) 123,429 [22,155]	<p>自衛隊等の演習行為又は防衛施設の設置により生ずる障害の防止等のため、治山施設等の防災施設を整備した。</p> <p>これにより不安定土砂の移動が抑えられ、演習場周辺の災害の未然防止に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備 滝沢、与兵衛流、一の橋の 3 地区

